

第21回日本マレーシア学会(JAMS)研究大会 プログラム

●日時：2012年12月15日（土）、16日（日）

●会場：立教大学 池袋キャンパス（〒171-8501 東京都豊島区西池袋3-34-1）

5号館2階（12月15日）、本館2階（12月16日）

・キャンパスマップ <http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/campusmap/>

・交通アクセス JR・地下鉄「池袋」駅下車、徒歩7分

<http://www.rikkyo.ac.jp/access/ikebukuro/direction/>

●問い合わせ先：舛谷鋭（立教大学観光学部）

●プログラム

◆12月15日（土） 13:00 受付開始

13:30 - 13:40 開会挨拶 舛谷鋭（大会準備委員長、立教大学）

13:40 - 15:00 個別報告

※それぞれ報告30分、質疑応答10分

司会：富沢寿勇（静岡県立大学）

13:40 - 14:20 報告(1) 岡本義輝（宇都宮大学）

「何故、日系企業 R&D 部門は優秀なローカル技術者を採用出来ないのか？——マレーシアでの日系・外資系企業の事例研究から」

14:20 - 15:00 報告(2) 伊賀司（神戸大学）

「ブルシ運動と2008年総選挙以後のマレーシア——活性化する社会運動と市民社会の成長」

15:00 - 15:10 コーヒーブレイク

司会：弘末雅士（立教大学）

15:10 - 15:50 報告(3) 青柳枝里子（穂高書店）

「資料の保存とその活用化——マレーシア・インドネシアを事例に」

15:50 - 16:30 報告(4) 黒田景子（鹿児島大学）

「タイ＝マレーシア国境の越境者社会——クダー州内部地域のタイ語話者社会と沿岸政権としてのクダースルタン国」

16:30 - 16:45 コーヒーブレイク

16:45 - 18:00 会員総会

18:15 - 20:30 懇親会

◆12月16日(日) 9:30 受付開始

東方政策 30周年記念 特別シンポジウム (本館 2階 1202)

「東方政策 (ルックイースト政策) の 30年と今後の展望」

主催: 日本マレーシア学会

共催: 地域研究コンソーシアム (JCAS) 社会連携プロジェクト「地域研究と外交実践の連携プロジェクト」(代表: 川端隆史)、京都大学東南アジア研究所公募共同研究「教育・研究交流を通じた東アジアにおける産官学ネットワークの社会的影響の評価: 東方政策の 30年を振り返って」(代表: 金子芳樹)

協力: 日本外務省、マレーシア大使館、東方政策元留学生同窓会 (ALEPS)

第一部 基調講演 (英語)

司会: 吉村真子 (法政大学)

10:00 - 10:05 開会の辞 宮崎恒二 (JAMS 会長、東京外国語大学)

10:05 - 10:15 趣旨説明 川端隆史 (京都大学)

10:15 - 11:00 基調講演 I 在日マレーシア大使館から

11:00 - 12:00 基調講演 II 山本敏生 (外務省南東アジア第二課課長)

12:00 - 13:30 昼食休憩

第二部 パネル・ディスカッション (日本語)

司会: 金子芳樹 (獨協大学)

13:30 - 13:40 趣旨説明 金子芳樹

13:40 - 14:55 報告 (各 15分)

報告(1) 山本敏生

報告(2) アクマル・アブ・ハッサン (元東方政策留学生、マレーシア ハラル コーポレーション 株式会社代表取締役)

報告(3) 吉村真子 (日本・マレーシア関係から)

報告(4) 穴沢真 (小樽商科大学) (日系企業の進出と人材育成)

報告(5) 川端隆史 (政策提言の視角から)

14:55 - 15:05 コメント 鳥居高 (明治大学)

15:05 - 15:15 コメント 山本博之 (京都大学)

15:15 - 15:30 休憩

15:30 - 16:20 総合討論

16:20 - 16:30 閉会挨拶 宮崎恒二

※入場無料、事前登録不要。学会員でなくても参加可能です。